

会派視察・研修報告書

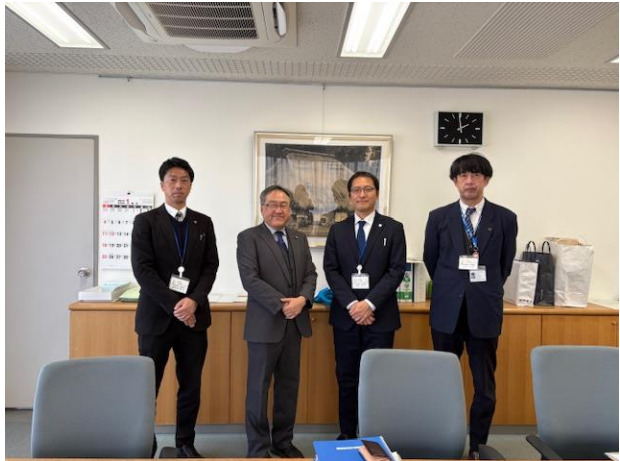
会派名 公明党

代表者名 寺島 芳枝

1 日にち	令和8年1月22日(木)
2 視察先 研修名、主催者及び会場	栃木県坂戸市
3 参加者	片山 竜美
4 調査・研修の テーマ	英語教育について
5 主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公費負担とした背景と取り組んでききた成果と課題 ・費用の財源や教員の負担について ・現在までの成果と課題
6 所感、提言事項、課題等	<p>【片山竜美】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の目標である「中学卒業までに英検3級以上の合格を50%以上」とするために、平成30年度から中学生全員が英検を受検する機会を年1回設け、その費用を全額公費負担とした。 ・平成5年度的全語句・学力状況調査の英語「話すこと」では、7校中5校が平均正答率12.4%を超え、さらに25%の学校も複数あった。 ・令和7年度の予算に1千万円弱を計上し、90%以上の生徒が受検している。 ・英語科が、受検受付事務を担当し、平日の5.6時間目に全職員で試験を行う。マニュアルは市の教育委員会が担当。 ・受検会場費が入るため、その費用を英語科の教材費などに充て、生徒に還元している。 ・教員の負担がないわけではないが、こうして少しでも軽減できるよう工夫している。 ・夏休みに「坂戸英会話教室」を4日間開催し、英会話と英語を使ったゲームや英検2次試験対策を行っている。 ・課題として、学校の行事計画との関係で、2学期の中間テストと1次試験の日程が近くなってしまうことを懸念する声があがっていること。 ・また、今年度で8年目を迎えるが、英検3級合格者50%を超えておらず、最高が49.5%にとどまっていること。 <p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> *坂戸市は人口規模が多治見市とほぼ同じで、予算規模も同様の中で、こうした取り組みがなされているのは特色ある教育という意味では意義があることだと思う。 *英語科の先生には事務作業などの負担があるが、会場費が入ってくることで、各校とも英語に関しては教材が充実しており、負担がやりがいにつながっていると感じた。

*多治見市の総合計画では「小中学校の英語教育の充実」と掲げており、その成果を目に見える形で「英検受検の推進」をテーマに一般質問を行った。坂戸市での取組を参考に、今後も訴えていきたい。

*坂戸市にも小中一貫校があり、そこでも英語教育に力を入れていると伺った。今後、笠原小中学校とも連携し、お互いの良さを取り入れるなどして交流できればと思った。



※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

※「6 所感、提言事項、課題等」は、参加者全員分を記載すること。